

森から世界を変えるREDD+ プラットフォーム  
情報発信分科会

2016年度活動報告  
2017年度活動計画案

2016年12月16日

目的	課題	今年度の活動報告
REDD+事業を円滑に進めるために	重要なステークホルダー（議員・企業幹部等）への打ち込み	今年度は理解層の拡大に注力し一般層向けのパンフレットを作成
	BtoC関係企業へのリーチ	日刊工業新聞イベント（12/16）、日経環境系フォーラムイベント（12/21）
理解層を一層拡大するために	地方への展開	環境省中部地方環境事務所イベントでの発表（名古屋；1月）
	学生等サポーター創設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オフィシャル特派員のインドネシア派遣 → REDD+PR企画を実施（12月末まで）</li> <li>・ユースサポーターの創設</li> </ul>
	親しみやすい署名人サポーター活用	<p>パッケンマックン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコプロステージで特派員との報告（12/10）</li> <li>・REDD+紹介入門編（youtube動画+テキスト）</li> </ul> <p>池上彰氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画作成（パナマ運河）、TV東京正月特番</li> </ul>
	コンテンツの工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般層向けのパンフレットを作成（エコプロで配布）</li> <li>・パッケンマックンによるREDD+紹介入門編</li> <li>・facebook等へyoutube動画の貼り付け</li> </ul>

Webサイト、SNSについては、イベント情報等定期的に更新。Webサイトリニューアルを実施。

# 2016年度活動報告

取り組み	2016年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
国際イベント											■UNFCCC COP22 (マラケシュ)	
国内イベント												●エコプロ (12/10)
シンポジウム	●日経エコロジー日経BP環境経営F 池上彰氏イベント ●国際セミナー(ナレッジ分科会共催)						●国際シンポジウム	●ビジネスモデル分科会		●実施段階を 迎えたREDD+		●日刊イベント ↳1月新聞掲載 ●日経エコロジー 日経BP環境経営Fイベント
地方セミナー 環境省連携	●名古屋											
オフィシャル サポーター												●池上彰氏動画 ●パッケンマッケン動画
オフィシャル 特派員						●募集開始	●事前勉強会	●インドネシア訪問	●PR活動開始	●ステージイベント		●エコプロ(12/10)
ユース サポーター										●ユースサポーター創設・募集開始		
メディア・ 広報資料	●TV東京	●日経エコロジー 日経ビジネス掲載									●NHKニュース (COP22取材)	●一般向け パンフレット作成

- 森林保全、途上国支援、地球温暖化防止に関心のある若い世代からサポーターを募り、自主的なPR活動をおこなってもらう。オフィシャル特派員はREDD+の海外現地レポートと帰国後の国内でのPR活動を展開。

## ●REDD+オフィシャル特派員

6月から募集し、全国から多くの方の募集を得て、情報発信分科会に審査協力を経て、2組4名を任命。9月にインドネシアのサイトを訪問していただき、帰国後それぞれのPR活動を展開中。

## ●ユースサポーター

特派員2組4名。現在も応募を受付中。（新たに4名の応募がありました）

**REDD+ オフィシャル 特派員**

**第1回 REDD+ オフィシャル特派員急募!**

この募集のサイトフォームでは、第1回REDD+オフィシャル特派員を募集いたします。  
REDD+の経験・知識がなくても大丈夫です。  
募集の条件、応募の仕方、応募の締め切りは、  
サイトフォームの募集要項、募集のFAQ、募集のFAQをご覧ください。  
サイトフォームの募集要項、募集のFAQ、募集のFAQをご覧ください。  
REDD+の募集要項のページをご覧ください。

### REDD+ユースサポーター

**YRNやーん** REDD+ オフィシャル特派員  
(左から渡邊梨香さん、竹村真見さん、末吉賢太郎さん)  
#PhorestというPhone+Restの造語を駆使し、心に余裕を作るムーブメント企画。もちろん、Forest(森)の意味も。詳しくはウェブサイトをチェック！  
#Phorestサイト

**飯塚帆南さん** REDD+ オフィシャル特派員  
ミス日本みどりの女神でありながら、チェンソー資格も持つ飯塚さんは森林への思いも人一倍！あふれるアイデアを携えて、REDD+ オフィシャル特派員活動を頑張っています。

## <インドネシア現地取材> 9月実施

- ・違法伐採を止め、様々な活動を行っている住民との意見交換、活動視察
- ・ボアレモのティラムタにてカカオ農園視察 等



現地政府関係者、学校を訪問、交流をおこなった。





## <帰国後の活動>

チームYRN（やーん） インターネットを通じた情報発信を展開  
「Phorest」活動の企画・推進

飯塚帆南さん 国内外のシンポジウムや学校でREDD+について講演を展開中  
森のようちえんでの紙芝居、カカオを使った環境教育の実施

12月10日（土） エコプロ会場にてプレゼンテーションを実施  
●11:30-12:15 主催者ステージ（オフィシャルサポーター、パッケンマックンと共演）  
●15:30-16:00 国際協カコーナー



日々の活動をSNSで紹介

エコプロにて、パッケンマックンとともに活動報告

## 新たなサポーターとして パックンマックンを起用



日本人と米国人のお笑いコンビ。  
パックン。アメリカコロラド州出身。1970年11月14日生まれ。本名 パトリック ハーラン。血液型 O型。  
マックン。群馬県 富岡市出身。1973年3月26日生まれ。本名 吉田 眞。血液型 AB型。  
日米コンビならではのネタで頭角を現し情報番組「ジャスト」をきっかけに老若男女問わず、幅広いファン層を持つ。「英語でしゃべらナイト」など英語教育番組などでも活躍。2003年にはラスベガスで、2007年にはハリウッドで英語漫才のステージも成功させる。現在はテレビなどのメディアでの出演を始め、10年前より、精力的に講演活動も行っている。

- REDD+ プラットフォーム公式サイト上で、3回に渡ってREDD+ 紹介記事を展開（12月）
- エコプロ2016会場イベントステージにて、特派員とともにREDD+ プラットフォームを紹介

What's REDD+?! 森から世界を変えるキーワード「REDD+」とは何か？  
地球温暖化防止の切り札「REDD+」について、パックンマックンと一緒に学ぼう！

# 親しみやすい著名人サポーターの起用（2）

動画（Youtube、FBでの紹介）を用いてREDD+の認知拡大



●パッケンマッケン



●池上彰氏







●Webサイトリニューアル



●パッケンマックンによる  
REDD+紹介入門編

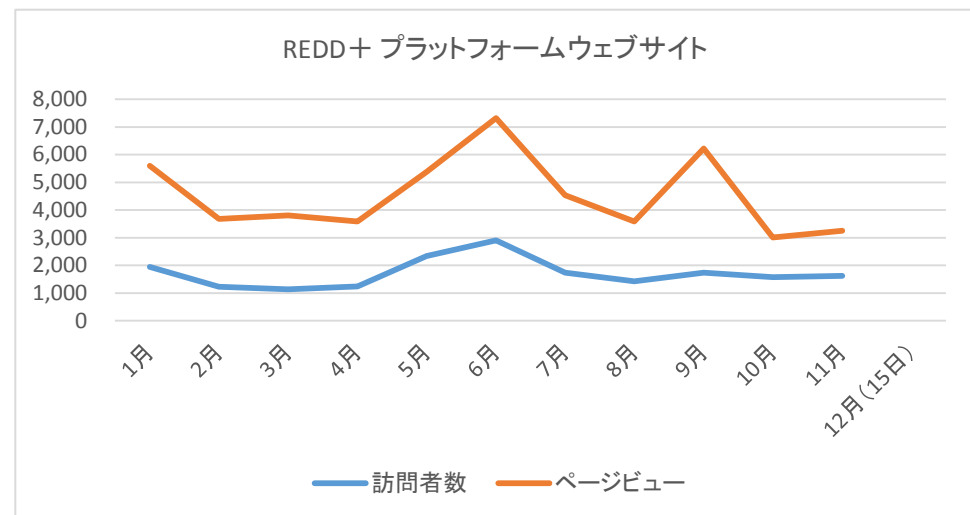
Facebook 169回発信 (いいね 2,558人)

Twitter 459回発信 (フォロワー 64人)

メルマガ発信 11回

Webサイト 訪問者数 18,864人

ページビュー 49,980回



## 日刊工業新聞イベント

タイトル： 地球温暖化対策と途上国の森林保全（REDD+）  
～日本企業のビジネスチャンスとは～

日時： 12月16日（金）15：00～17：20

会場： 国連大学ウ・タント国際会議場

主催： 森から世界を変えるREDD+プラットフォーム、  
日刊工業新聞

プログラム	
15:00~15:05	挨拶 環境省大臣官房審議官 森下 直正
15:05~15:35	基調講演1 「地球温暖化対策と日本企業の役割」 グローバル・コンバクト・ネットワーク・ジャパン 代表理事（元富士ゼロックス社長） 野馬 利男氏
15:35~15:55	基調講演2 「REDD+と日本の企業の関わり」 早稲田大学 人間科学学術院 人間環境科学科教授 天野 正博氏
15:55~16:10	事例報告 「日本企業の取り組み」 豊和株式会社 取締役・素材・プラント統括室 矢崎 慎介氏
16:10~16:20	質疑・応答
16:30~17:15	パネルディスカッション 「日本企業のREDD+参入チャンスにどう対応すべきか？」 早稲田大学 人間科学学術院 人間環境科学科教授 天野 正博氏 豊和株式会社 取締役・素材・プラント統括室 矢崎 慎介氏 公益財団法人国際緑化推進センター（JIFPRO） 担当者 田中 貴志 JICA 地球環境部 審議役兼次長 菅野 健一氏 （ファシリテーター）日刊工業新聞社 編集局 松本 豊
17:15~17:20	閉会挨拶

## 日経BP環境系フォーラムイベント

タイトル： サステナブル経営と森林保全

日時： 12月21日（水）15：00～19：00

会場： JICA市ヶ谷国際会議場

主催： 森から世界を変えるREDD+プラットフォーム、日経BP環境系フォーラム

目的	課題	内容案	今年度の活動報告
REDD+事業を円滑に進めるために	重要なステークホルダー（議員・企業幹部等）への打ち込み	分かりやすい説明・解説資料（読み物）の作成・配布	・企業向けパンフレット（事例紹介）改訂
	BtoC関係企業へのリーチ		・2016年度と同じく業界紙連携イベント（連携先は検討）
理解層を一層拡大するために	地方への展開	環境連携イベント増、イベント・コンテンツのWeb配信など	・環境省等の他、大学等の連携して継続して実施していく
	学生等サポーター		・オフィシャル特派員の海外派遣、REDD+PR企画実施（派遣先等は要検討） ・ユースサポーターの拡大と活用
	親しみやすい署名人サポーター活用	活用するイベント検討	・イベント企画（エコプロ/グローバルフェスタ/その他）
	コンテンツの工夫	SNSを通じた情報発信	・プラットフォーム関連イベント ・REDD+関連情報を幅広く紹介

Webサイト、SNSについては、イベント情報等定期的に更新。Webサイトリニューアル（含む英語版）を実施。